

えほん 『世界でいちばんやかましい音』

ベンジャミン・エルキン/作 松岡享子/訳 太田大八/絵 こぐま社



おどろきのさい後が待っています！

世界でいちばんやかましいガヤガヤという町がありました。町の人たちは、わめいたり、どなったりし、アヒルも世界一やかましい声でクワックワツとなき、おまわりさんもけたたましい音でピーツとふえをふきます。

そんなガヤガヤの町の中でも一番やかましいのは、ギャオギャオという王子さまです。王子さまは、6さいのたん生日に、世界で一番やかましい音が聞きたいとおねがいしました。そこで、世界中の人たちに同じ時間にさげんでもらうことにしたのです。

さて、世界中の人たちがいっせいにさげんだら、どんな音がするのでしょうか？みなさんも聞いてみたいと思いませんか？どうやら、この町の人たちも、みんな同じことを考えていたようですよ…。

えほん 『あすはきっと』

ドリス・シュワーリン/文 カレン・ガンダーシーマー/絵 木島始/訳 童話館

あしたはきっといい日になるよ

今日はどんな日でしたか？楽しかったですか？

あしたはどんな日になるでしょうか？かくれんぼをしますか？うたをうたいますか？それとも、おいしいごはんを食べますか？楽しいことが待っているといいですね。

今日できなかったことも、あしたになったらできるかもしれません。

今日、かなしかったり、おちこんだりした人も、きっと、あしたは

今日よりいい日になりますよ。そうしんじてみましょう。

読むと元気がもらえる絵本です。

あすは きっと



ものがたり 『あらいぐまのせんたくもの』

大久保雨咲/作 相野谷由起/絵 童心社



自分の気持ちをつたえてみよう

おばあさんが、はじめてコインランドリーに行くと、あらいぐまに出会いました。あらいぐまは、悲しいことがあった時になみだをハンカチでふいていると、「かなシミ」というシミがついてしまいとれなくなってしまうというのです。そこで、おばあさんに、ハンカチをあらってほしいとおねがいました。

おばあさんは、ハンカチをあらっている間に、あらいぐまの悲しかった話を聞いて、やさしい言葉をかけてくれました。あらいぐまには、どんな悲しいことがあったのでしょうか？みなさんのなかにも、同じようなできごとがおきた人もいられるかもしれません。ハンカチのシミだけでなく、心の「かなシミ」もとれるといいですね。

ものがたり 『ダッドリーくんの12のおはなし』

フィリップ・レスナー/作 アーノルド・ローベル/絵 こみやゆう/訳 KTC中央出版

きっと本を読むのが楽しくなる

新しい町に引っこしてきたダッドリーくんは、この町の人たちに自分のことを知ってもらおうと、いろんな場所に出かけていき、たくさんの人に話しかけます。

友だちのいない人だけが入れる「友だちなしクラブ」をつくったり、まいごになってしまったおまわりさんを助けたり、ダッドリーくんがかぶっているぼうしをほしがるま女にぼうしをあげて、その代わりにねがいごとをかなえてもらったり、マジシャンに自分を消してみしてほしいとおねがいしたりと、ハラハラドキドキするような、でもとってもユニークなお話が全部で12話入っています。

がまくんとかえるくんが出てくる『お手紙』の作者アーノルド・ローベルさんのお話の様子がつたわってくる絵もすてきですよ。

